



①

## ① 新井五差路 ARAIGOSARO

**太閤山ニュータウン** 2018年

太閤山ニュータウン（富山県）で撮影。太閤山ニュータウンは1960年代から建設されたニュータウン。

太閤山の名は豊臣秀吉が陣を張ったことに由来する。

## ② 百頭たけし HYAKUTOU Takeshi

**無題** 2012-2017年

かつて暮らした多摩・八王子・稲城市内にて後年撮影したもので組んだ。

ノスタルジーについては特に含まれていない。

## ③ 藤林悠 FUJIBAYASHI Haruka

**uncertain** 2016-2018年

秋田県の秋田市で高校卒業まで暮らしたが、出生は父方の持家がある東京都の清瀬市。清瀬～秋田から、上京して目白、町田、八王子、橋本、根津、藤代、取手、松戸と暮らす場所を変えた。常磐線沿いの、郊外と呼ばれる場所でこの10年ほど暮らしている。意図的に日常の中で景色の写真を撮り始めて、4年程度。撮影機材はその時使っているiPhoneが主。以前の居住地と現居住地付近の景色を選んだ。

## ② 新井五差路 ARAIGOSARO

**ooze** 2018年

計画都市は構想や言葉が先にあり、それを具現化しようとする試みである。しかし現実に作られたものは時間の経過とともに変化し劣化していく。それはその他の都市でも同じだが、ニュータウンはあらかじめ作られた枠が堅固であるために、綻びが生じた際の違和感も大きいという特徴がある。

## ③ 百頭たけし HYAKUTOU Takeshi

**無題** 2018年（1118×1580mm・297×420mm）

今秋、新たに多摩・八王子市内で撮影したもので組んだ。ノスタルジーについては特に含まれていない。

## ④ 藤林悠 FUJIBAYASHI Haruka

**705, 304** 2012-2018年

自宅内を撮影した写真を構成した組写真。人が人のためにつくった事物は、全て身体のサイズに合わせられ、機能を持つ。作家はその機能性よりも、視覚的な象徴として、建物に付随する物ものを撮影し切り取る。

今回は、8年居住した前住居と、昨年10月に転居してきた現自宅を主に構成。

**PERSISTENCE**

